

市 民 の 声



知覧町 永里
宮崎 富江

年寄りの心づかい

消防広域化について、色んなことが聞こえてきます。市民の安心・安全を住民は心配している今日この頃です。自分自身に責任を持って「決して悪い結果は出さない」市民代表の議員の皆様を信じたいと思います。

今、永里で農家民泊の仕事もさせてもらっています。色んな方との出会い、ご縁を頂き、家にながら日本中のお話が聞けて何と幸せ！

でも、考えさせられることも心配することもあります。この

ままでもいいのだろうか？ 綺麗さや物はお金で買えますが、心の美しさは買えないことに気付かず自分の欲望ばかりに振り回されている人の多いこと。人の心が、病んでいくのかのように思えて悲しくシクシクです。

このままで日本は大丈夫かな。「私は年だから」と逃げ出さないで下さい。年寄りの出番です。少しでも将来がよりよい方向に進むよう。子どもが大人になることに希望を持てる世の中になるように色んなことを教えてやって下さい。そして見せて下さい。私はいつも思っていることがあります。「これまで重ねた年月は私の財産ですから」と胸を張って言えるように今のこの時間を精一杯生きてみようと。

今日より若くなる日はありませんから・・・。



川辺町 清水
川口 正一

議会と議員に望むこと

地方自治体の長と議員は住民の直接選挙で選ばれる。なぜ、二元代表制なのかというと、住民生活に密接に関わる地方政治では、ともに直接選挙で選ばれた、政治を執行する長と住民代表である議会が、執行機関の独断専行を戒め、お互いに緊張関係を保ちながら、住民の利益を守り福祉の向上・充実を図ることが地方自治の第一義だからである。

議会だよりを拝見すると、個々の議員が住民や地域の実情・課題を把握し、その願いや要求を

現するため頑張っている様子は窺い知ることができ。しかし、議員同士の議論がなく、関連の質問などで問題を深く掘り下げていくことがない中で、議会での質問は行政全般の質疑応答に終始し、結果として執行機関の提案を追認しているように見える。今回、提出された「保育所の民間移管」・「指宿との消防の広域化に関わる協議会の設置」については、もっと丁寧な議論がなされてもよかつたのではないかと。議会の活性化を図るには、議員が行財政に精通し、執行部と互角に渡り合えること、地域住民に対する議会報告をするのと、議員同士が活発に議論し、政策立案能力を身につけることなどである。そこから、政治への一層の信頼が高まり住民の笑顔が見えてくると思う。

広報編集委員会 研修報告

10月10日に鹿児島市で開催された町村議長会主催の広報研修会に参加しました。

議会だよりは、議会の動きや予算の審査、議員の活動などをわかりやすく市民の皆さまに伝える役割があります。

今回の研修で学んだことを参考に、限られたスペースではありますが「市民の声」をはじめ、皆さまに情報提供をしていただくコーナーを設け、より親しみやすい議会だよりづくりに、委員一同努めてまいります。



茶畑では秋冬番茶も終わり、きれいに園ならされ、冬支度が出来ました。いよいよ秋の深まりを感じます。

10月14日、第4回市民体育大会が知覧平和運動公園で開催されました。グラウンドでは市内20の地区の選手が健脚を競い合い、応援に声をからしました。この大会の大きな目的である市民の健康増進・親睦・融和など所期の目的を達成できた素晴らしい大会でした。

12月には南九州市も合併5周年の節目を迎えます。5年間を振り返り、更に将来を見据える機会にしたいものです。

(下窪)

編集後記

▼広報編集委員会

- 委員長 峯 勝 勝範
- 副委員長 田畑 浩一郎
- 委員 亀甲 俊博
- 委員 下窪 一輝
- 委員 西 次雄
- 委員 吉永 賢三